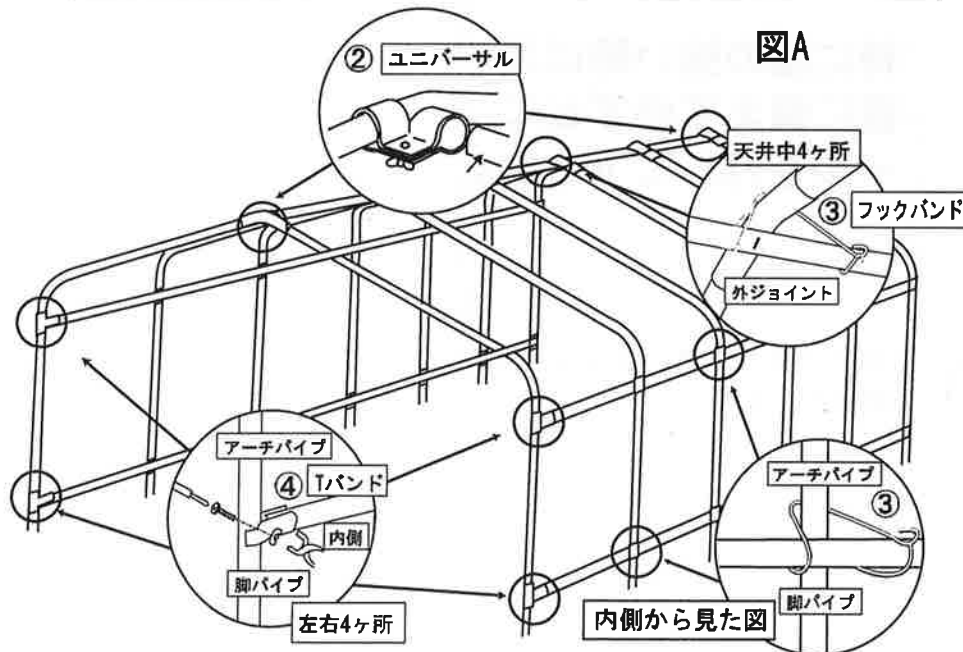


(部品内訳Aセット)

No	品名	数量	形状及び寸法
①	アーチ用パイプ (天井用)	12	形状及び寸法 上 146cm 下
②	ユニバーサル ジョイント	2	22×19
③	フックバンド	20	22×19
④	Tバンド	8	
⑤	外ジョイント	6	22
⑥	パッカー	4	19
⑦	天幕ビニール	1	

(部品内訳Bセット)

⑧	脚用パイプ	12	160cm
⑨	横通し用パイプ	5	146cm S
⑩	横通し用パイプ	5	160cm



※シート保護の為
蝶ネジは全て
内側へ

1 設置場所を決め、脚用パイプに印を付ける

※脚パイプに30cmと35cmの所へ印をする。
※建てる位置を決め入口2.5M、奥行3.0Mに、はかり直角をとり、四角に穴を掘り脚パイプを建てる。

2 横通し用パイプを継ぐ

※横通しパイプを継ぎ60cmおきに印をする。
継いだ後、抜けない程度に軽くつづす。

3 脚用パイプの穴を掘り、立てる

※四角に建てたパイプの35cmの所に水糸を張り60cmおきに深さ35cmくらいの穴を掘る。

4 天井アーチ用パイプを組む

パイプに、張りがある為内側へ引き寄せながら作業して下さい。

5 横通し用パイプを取り付ける (図A参照)

6 天幕をかぶせる

7 パッカーでビニールを止める

○の部分にパッカーで止めると効果的です。
※⑥のパッカーの止め方。

ビニール温室設置場所及び使用上の注意

※組み立てる前に必ずお読み下さい

◇次の場所には設置しないで下さい。

- 雪がまとまって落ちる恐れがある場所。
- 雪が吹溜まりになる場所。
- 風当たりが特に強い場所。

◇風の強い時、あるいは強風が予想される時はビニールを取り外して下さい。

◇ビニールに火気等を絶対に近づけないで下さい。

◇降雪時等、厳寒期の保温は万全とは言えませんので、温室内植物の保護の為、温風機等で温度調節を別途、お図りください。

◇パイプ等に物を掛けたり、ぶら下がらないで下さい。

◇ビニールの破れ及びパイプのつぶれ等のある時は、予想出来ない危険を伴う事がありますので、気付いた時点で本製品をお買い上げいただきました販売店で破損部材を買い換えて下さい。

尚その際、作業の安全を必ず確認して下さい。

この「注意書・説明書」は事故防止と部品交換時の為に大切に保管して下さい。

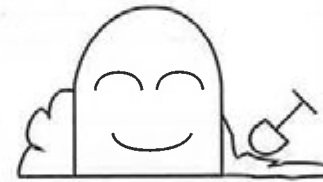
製造元 南栄工業株式会社

雪に対する注意

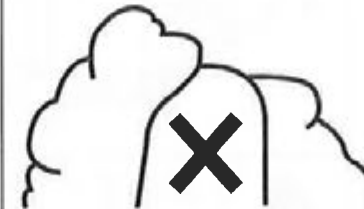
まとまった雪が落下しそうな場所片側に重みがかかる場所には設置しないで下さい。



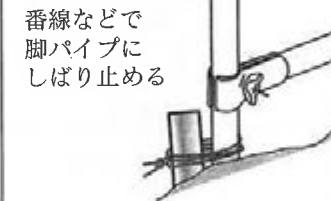
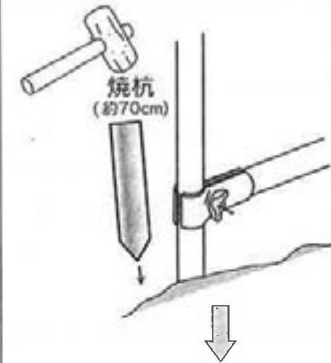
随時除雪作業を行って下さい。



多積雪時等により押し潰されそうになっている温室内には、非常に危険ですので絶対に入らないでください。



風に対する注意



番線などで脚パイプにしばり止める

特に風の強い時は災害に備えて必ずビニールを外して下さい。

尚その際、作業の安全を必ず確認して下さい。